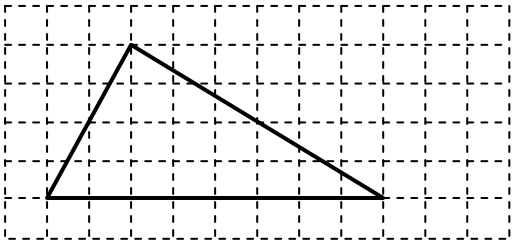
第５学年　算数科学習指導略案

日時　１２月　８日(月)　３校時
(10:45~11:30)
指導者　　佐藤　光彦

１．単元名　　面積の求め方を考えよう（本時　４／１３）

２．本時のねらい
・既習の図形をもとにして，三角形の面積の求め方を考えることができる。

３．本時の展開

学　習　活　動	指導上の留意点
１．指導主事の先生から本時の問題を確認する。 下の三角形の面積の求め方を考えよう。 	・Ｉ-ＴＶをつなぎ，指導主事の先生より本時の問題を提示していただく。 ・習った形や既習事項が活用できないか指導主事の先生から問いかけていただき，求め方への意識をもたせる。 ・多様な求め方をクラスで検討し，後ほど指導主事の先生に報告することを約束する。 （問題提示後，Ｉ-ＴＶを切る）
２．三角形の面積の求め方を考える。 学習したことをいかして，三角形の面積の求め方を考えよう。 【予想される解決方法】 ①２つ重ねると平行四辺形になるから →８×４÷２　＝１６ ②２つの三角形に分けて，それを２つずつ重ねると長方形になるから →４×８÷２　＝１６ ③高さが半分のところで切って重ねると平行四辺形になるから →８×(４÷２)　＝８×２　＝１６	・問題提示に使った図を多めに準備しておき，作図したり，切ったりしながら考えることができるようにする。 ・切ったり変形したりする回数はできるだけ少なくし，友達に説明するときに分かりやすい求め方となるように助言する ・児童の自力解決の結果から，求積法（倍積法・等積法）と変形した形に話し合いを焦点化し，集団解決で類型化する。類型化された考えを児童に代表して報告させる。
３．指導主事の先生に解決の結果を報告する	（Ｉ-ＴＶを再接続する） ・児童の報告を受けて，指導主事の先生からそれぞれの求め方から共通点を見つけて公式にできないかを投げかけていただく。 （終了後，Ｉ-ＴＶを切る）
４．今日の学習をまとめ，次回はそれをいかして三角形の面積を求める式を考えることを知る。 三角形の面積は，平行四辺形や長方形に変形して求めることができる。	
５．本時の学習を振り返る。	

４．評価
・既習の図形に帰着して，三角形の面積の求め方を考えている。（数学的な考え方）ノート